

平成23年度病害虫発生予察指導情報
対象病害虫：ダイズ・ハスモンヨトウ（No. 2）

平成23年8月26日
鳥取県病害虫防除所

情報の内容

フェロモントラップへのハスモンヨトウの誘殺数が平年に比べてやや多いので、引き続き白変葉及び幼虫の発生状況に注意し、適切な防除に努めて下さい。

1 発生状況及び発生予想

- (1) 7月第4半旬から8月第4半旬のフェロモントラップへの総誘殺数は平年よりやや多い（表1）。また、8月第5半旬～9月第1半旬に誘殺のピークを迎える予想される。
- (2) 現地ほ場では8月第4半旬頃より、白変葉が増加し始めており、今後もさらに増加すると見込まれる。

2 防除上注意すべき事項

- (1) 若齢幼虫の加害によって発生する白変葉の早期発見に努める。発生初期の場合、葉の切除などの捕殺を行うか、農薬のスポット散布を行う。
- (2) 防除の目安は、1a当たりの白変か所数3～5か所以上とする。
- (3) 白変葉が確認されにくいほ場が散見されるので、観察にあたっては、ほ場周辺からの観察のみならず、ほ場内での観察も行う。
- (4) 若齢幼虫に対する登録農薬の効果は高いが、齢期が進むと防除効果が低下するため、散布適期を失しないようにする。なお、中齢～老齢幼虫が混在する場合は、ロムダン粉剤DL、ミミックジョーカー粉剤DL、ラービンフロアブル、マトリックフロアブル、フェニックス顆粒水和剤、プレバソンフロアブル5等を散布すると、比較的効果が高い。

表1 フェロモントラップによるハスモンヨトウ雄成虫誘殺数の推移

月・半旬	鳥取市橋本		湯梨浜町		鳥取市河原町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
7・4	50.0	34.3	189.2	104.9	72.0	35.6
7・5	72.0	18.0	291.9	115.2	55.0	21.9
7・6	56.7	22.8	258.8	184.8	55.8	26.9
8・1	41.3	27.2	230.4	153.4	73.0	55.1
8・2	36.7	34.9	311.9	174.3	76.0	75.3
8・3	22.5	37.2	442.2	198.2	83.0	103.1
8・4	42.9	30.0	650.0	201.4	143.0	85.3
計	322.0	204.4	2374.3	1132.1	557.8	403.1

注)鳥取市橋本は乾式トラップ、その他はファネルトラップを使用。

鳥取市橋本、湯梨浜の平年値は過去10年間の平均値。

鳥取市河原町の平年値は過去8年間の平均値。